



会より さくら だより

第27号 2011年1月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955
ホームページ: <http://www.sakurakai.jp/>

謹賀新年

社会福祉法人 さくら会

理事長 前田 武昭

皆様にはすがすがしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は一方ならぬご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

おかげさまでさくら会は、このように職員一同そろって新年を迎えることができました。

今年も職員が力をあわせ、法人の基本理念にありますとおり、それぞれの人がその人らしく生活する姿勢を尊重し、そのために必要な生活支援の実現を目指し、関係者や地域・ボランティアの皆さんと連携して、質の高いサービス提供を目指してまいります。

そこで今年、人材育成システムを構築して一人ひとりの職員のスキルアップを図りご利用者のサービスアップにつなげます。あわせて、法人の事業の拡大に向けての取り組みを強めてまいりたいと考えております。

本年もよろしくご指導のほどお願い申し上げます。



*さくら会のマーク
重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

季節の食事

食事といえば、毎日の楽しみのひとつ。
さくら会では、皆さまに食事を通して季節
や行事を感じていただけるように、工夫
したお食事を提供させていただいています。

1月



『おせち料理』
一の重から三の重
までを意識しながら、
少しずつ色々な種類の
おせちを召し上げて頂
けるよう、工夫して
います。



『雑祭ご膳』

定番のちらし寿司
に清まし汁。本来
は潮汁をお出しし
たいところですが、
貝が噛み切れない
方が多く、ソーメ
シと手毬麩、三つ
葉の清まし汁にし
ました。

7月



『七夕ご膳』
オクラの星型の断
面を利用し、星に
見立てて3色ソー
メンの上に飾りま
した。また、カル
ピスゼリーの中にも、
星型に型抜きした色
とりどりのゼリーを
浮かべ、工夫をしま
した。



『長寿を祝うご膳』

一年の中で、最も
豪華!?な行事食で
す。
「お腹いっぱい
食べきれない!」
とおっしゃいなが
らも、皆様、よく
召し上がって下さ
います。



9月



12月



『クリスマス会』
洋風のメニューに、
手作りのデザート
をつけました。



住み慣れた地域で生活するために！

『認知症サポーター養成講座』開催



平成22年9月18日、「認知症シンポジウム 認知症でも大丈夫！みんなで支える品川のまち」を開催しました。南大井第二在宅介護支援センターのケアマネ職員の折原現が寸劇に出演しました。

地域の皆さんが認知症について正しい知識を持ち、身近な生活の中で認知症の方とその家族を、できる範囲で支えていくことで、認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、認知症サポーター養成講座を開催しています。

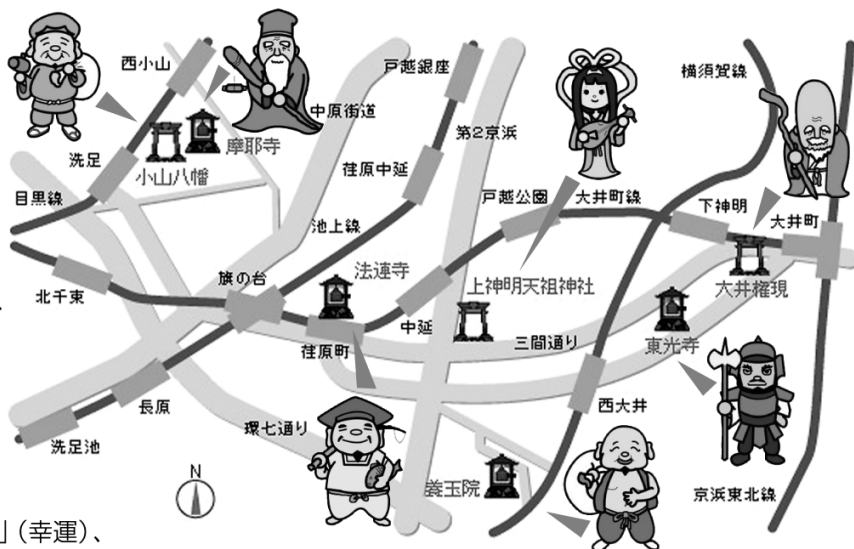


演劇形式で分かり易く説明

この養成講座の費用は無料で、時間は二時間程度です。講座のお問い合わせ先は、品川区役所高齢者福祉課または、お近くの在宅介護支援センターにお願いします。

お正月の散歩コース 荏原七福神めぐり

以前、東海七福神をご紹介しましたが、今回は荏原七福神をご紹介します。



福祿寿



星神、寿星、南極星の精・奉山府君を人格化した神で、「福」(幸運)、「禄」(長寿)、「寿」(長命)の三つの福徳を授ける人徳の高い神様とされています。

寿老人



種々の病の平癒、長寿延命をもたらし、人々の健康と安全を守る神様とされています。中国の老子が点に昇ってなったという仙人の姿。

弁財天



インドが起源の水、音楽の女神とされ、音楽を司る仏神、弁舌才知の仏神または、財宝授与の仏神として、芸道富有の福徳を授ける神様とされています。

布袋尊



福徳円満の神様。ふくよかな笑顔に、大きな布袋をたずさえた姿が特徴的です。中国・唐の時代に実在した僧「契此(かいし)」がルーツとされ、中国では弥勒菩薩の化現として信仰されています。

大黒天



ヒンズー教の戦闘神シヴァの化身。仏教における大黒天は、富と材の神。台所の守護神。五穀豊穡の神様。右手に持つ打ち出の小槌の「槌」は、「土」すなわち様々なものを生み出す「大地」を意味するとされています。

恵比寿



七福唯一の日本出身の福神。漁業、商売繁盛、旅行安全の神様で、狩衣に風折烏帽子を冠り、鯛を抱えている姿が特徴的です。航海安全、また豊漁をもたらす神様として港の近くに多く祀られました。

毘沙門天



毘沙門とは、インドのヴァイシュラヴァナのこと。仏法を守護する四天王の一人。多聞天(一切をもらさず聞くことのできる大智者)とも呼ばれ、甲冑に身を包み、右の手に槍、左の手に財宝を授与するといわれる多宝塔を持ちます。

●●●意見箱から●●●

「ご意見箱」に寄せられた、皆様からの貴重なご意見・ご要望を紹介させていただきます。

(ご意見) 公衆電話に関し、現在さくら会に設置されている公衆電話器はカードが使用できず、10円や100円玉のみの使用となっています。特に遠距離通話の時は、10円玉を30枚から50枚も用意しなければならず、大変不便です。携帯をもっていない高齢者が時々電話をする時、カードを使えないのは大変不便だと感じています。早急にカード使用可能な電話器の設置をお願いします。

(回答) ご意見ありがとうございます。

カード式公衆電話についてはかねてからNTTに要望しております。今般も改めてお願いしたところ、NTTでは公衆電話は売上の少ないものから撤去している状況であり、新規の設置は難しいという回答でした。カード式公衆電話はNTT以外では設置することができないことから、改善の策としてさくら会独自で現在のピンク電話を各階に設置しているものです。ご不便をおかけして申し訳ございませんが、現在のピンク電話をご利用いただくか、ご家族の場合はさくら会前の歩道に設置してある公衆電話もあわせてご利用下さいませ。ようよろしくお申し込み申し上げます。



職員リレー④

前号に引き続き、さくら会職員をリレーでご紹介します。

本部 会計係長 鈴木 麻美

明けましておめでとうでございます。今年の10月で入社満10年を迎える、本部の会計担当の鈴木と申します。

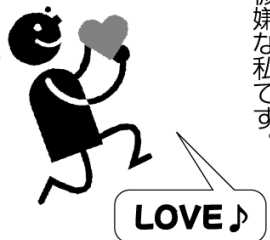
入社した頃は、畑違いの業種から転職してきた私としてはとまどつことばかりでしたが、今やとまどつてばかりもいられない年齢となりました。ちなみに、目下、婚活中です。

そんな私の仕事は、法人で使う物品の購入や支払に始まり、予算書や決算書を作成する事です。毎日、数字とにらめっこをしているように受取られがちですが、電話対応や見学案内、おまつり等でも出番があります。

また、さくら会には複数の事業所があり、いろいろな職種の職員が日々働いておりますので、皆が連携して動けるよう縁の下から支える事も重要な自分の役割であると思っております。

直接、ご利用者の皆様とお話できる機会は少ないですが、訪れていただいた方が気持ちよく過ごしていただけるよう誠実に対応していきたいと心がけております。どうぞよろしくお願いたします。

※注 写真は両手にビールでご機嫌な私です。



さくら会まつり報告

11/7(日)に、さくら会まつりを開催致しました。

10時からの式典では前田理事長の挨拶の後、富岡品川区高齢者福祉課長(区長代理)、高林大井地区町会連合会会長、および中村大井水神町会長から祝辞をいただきました。

午後には濱野品川区長もお越しくださり、おまつりの見学後、改めてステージで挨拶を賜りました。

今年も縁田コーナーやスタンプラリー、模擬店やご利用者の作品展示等、様々な催しを楽しんでいただきました。

ステージの幕間では校友会のみなさんにお囃子の演奏をしていただきましたが「おまつりらしい雰囲気を感じられた」「なんだか懐かしい」など、大変好評でした。

ご協力頂きました皆さま、ご来場頂きました皆さま、大変ありがとうございました。



商品が完売し、職員も笑顔でVサイン



さくらハイツの皆さんもステージを盛り上げて下さいました!



今年もご利用者の力作が勢ぞろい

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0013 品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次回の発行予定は、平成23年7月です。